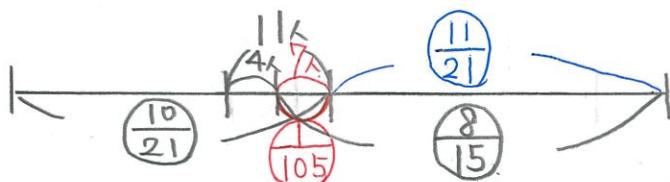


1から学ぶ中学受験算数～第25回相当算③～

氏名： 解答・解説

例1 ある学校の入試で、合格者は受験者の  $\frac{10}{21}$  より 11 人少なく、不合格者は受験者の  $\frac{8}{15}$  より

4 人多かったそうです。受験者は何人ですか。

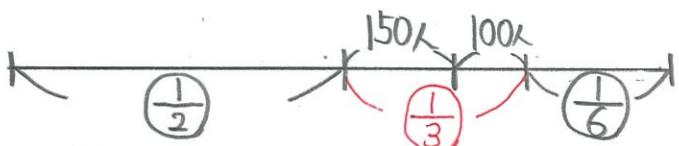


$$\frac{1}{105} = 7\text{人} \text{なので}$$

$$① = 7\text{人} \div \frac{1}{105} = \underline{\underline{735\text{人}}}$$

例2 ある学校の男子生徒は全校生徒の半分より 150 人多く、女子生徒は男子生徒の  $\frac{1}{3}$  より

50 人多いそうです。この学校の全校生徒は何人ですか。



$$\frac{1}{3} = 250\text{人} \text{なので}$$

$$① = 250\text{人} \div \frac{1}{3} = \underline{\underline{750\text{人}}}$$

◎男子生徒の  $\frac{1}{3}$   
 $\frac{1}{2} + 150\text{人の } \frac{1}{3}$   
 $= \frac{1}{6} + 50\text{人}$

例3 あめが何個ありました。はじめに A さんが全体の半分より 2 個少ない数を取り、

次に B さんが残りの  $\frac{2}{5}$  より 2 個多い数を取ったら、あめは 13 個残りました。

はじめ、あめは何個ありましたか。



$$\boxed{\frac{3}{5}} = 15\text{個} \text{なので}$$

$$\boxed{1} = 15\text{個} \div \frac{3}{5} = 25\text{個}$$

だから  $\frac{1}{2} = 23\text{個} \text{なので}$

$$① = 23\text{個} \div \frac{1}{2} = \underline{\underline{46\text{個}}}$$

★「残りの」が分からぬ  
→「残りの線分図」を  
追加する!!